

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日、皆さんが新たなステージへと進むこの瞬間を、私たち教職員一同が共に迎えられることは、大変な喜びであります。皆さんがこれまで積み重ねてきた努力と成果が、大学院への道を開いたことに、心からの敬意を表します。また、皆さんの努力を支えてこられたご家族や関係者の皆様にも、お祝いを申し上げます。

今年の元旦、能登半島地震が発生し、多くの方々が被災されました。被災されたすべての方々に、心からのお見舞いを申し上げます。東京医科歯科大学からは、医師や看護師、救急救命士など多職種で構成された職員合計 27 名が被災地で支援活動を行いました。彼ら彼女たちは、インフラが復旧しない過酷な環境の中で、医療支援を行い、被災者のために献身的な活動を行いました。また、本学に残った職員も被災地に向かった職員の分まで業務を補うことで、間接的な支援を行い、「世のため人のために」最大限の医療を提供することができました。

このような災害派遣のみならず、コロナ対応はもちろん、通常の先端医療を含め社会から課せられた使命、すなわち今日の医療という点においては、本学附属病院も世界最高水準に達していると言っても過言ではありません。

しかし、本学は先端的な医療機関であるのみならず、教育機関であり、研究機関でもあります。その成果を社会に還元しなければなりません。これまで本学は医療系唯一の指定国立大学法人として、明日の医療を担う人材を育て、明日の医療を生み出す研究を実践すること、そして、明日の医療の姿を社会に示すことを目指してきました。

折しも東京工業大学も理工系唯一の指定国立大学として世界最高水準への進化を模索していました。志を同じくする両大学が統合することで、それぞれの大学の守備範囲が広がり、より幅広い人材の育成、深い研究を実現できると考えています。これが本年 10 月に発足する「国立大学法人東京科学大学」なのです。

東京科学大学では、自由でフラットな学風の下、多様な社会課題に立ち向かうために、理工学、医歯学、さらには情報学、リベラルアーツ・人文社会科学などを収斂した「コンバージェンス・サイエンス」を展開します。

自由でフラットな学風とは、お互いの自由を尊重し、自分の役割に自信と誇りを持ってチャレンジしていく文化です。その前提となる多様性、公平性、包摂性など心理的安全が保障されるガバナンスに力を注ぐ方針です。

共に「科学」を追究し、新たな価値創造を希求する人のみならず、広く「科学」に興味を持つ人をも含めて、多様な人たちをこれまで以上に惹きつける大学になりたいと考えています。

皆さんは東京医科歯科大学最後の新入生でもありますが、東京科学大学として、修士課程、博士課程を修了される方たちです。皆さんのひとりでも多くが「コンバージェンス・サイエンス」の研究者として成長されることを期待しています。

さて、皆さんがこれまでに得た「学士」という学位はどのように社会では認識されているのでしょうか？

「学士」という学位は、専門分野における既存の学問を修めたことを示します。これは、その分野についての基本的な知識と理解を持ち、それを適用する能力を身につけていることを意味します。言い換えれば、「学士」の学位は高等教育の基礎を終えたことを証明するものであります。皆さんは、その分野での専門的なキャリアを開始するためのステップを終えたのです。

では、皆さんが今日から目指す「修士」と「博士」の学位はどのようなものでしょうか？

「修士」の学位は、学士で学んだ専門分野をさらに深める課程を示します。これは、特定の分野における高度な理論と実践的なスキルを習得し、さらに応用する能力を持つことを意味します。修士の学位には、MMAのように新たな視点からの学び直しや新たな分野への挑戦も含まれます。

一方、「博士」の学位は、新たな知見を生み出す能力を修めたことを示します。これは、その分野の最前線に立ち、新たな課題を設定し、それを解決する理論や方法を開発し、その分野を推進する能力を持つことを意味します。当該分野における研究を通じて新たな知識を創出し、その分野の発展に寄与することを目指すものです。

そもそも、研究には、「知りたい」という知的好奇心から出発する研究と「必要性」を意識した課題解決型の研究があります。前者の場合も、皆さんひとりひとりが、「世のため人のために」という視点を意識して頂きたいのです。

純粋な知的好奇心による基礎研究が想定外の展開を示す場合があることを科学史が証明しています。そして、いずれの研究においても、分野の垣根を超えたコラボレーションに挑戦し、これからの未来を「コンバージェンス・サイエンス」によって創造していただきたいと思います。

皆さんが Clinician Scientist、つまり医療の視点を持った研究者と Scientific Clinician 科学的視点を持った医療者を目指して、多様な見識を持つ仲間とともに、これから充実した大学院の学生生活を、そして素晴らしい人生を送られることを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠にありがとうございます。

2024年4月9日

東京医科歯科大学 学長 田中 雄二郎